

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-134283 (P2003-134283A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)
 【出願番号】特願 2001-322007 (P2001-322007)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/00
 B 6 5 H 5/02
 G 0 3 B 27/62
 G 0 3 G 15/00
 G 0 6 T 1/00

【F I】

H 0 4 N 1/00 D
 H 0 4 N 1/00 1 0 8 L
 B 6 5 H 5/02 F
 G 0 3 B 27/62
 G 0 3 G 15/00 1 0 7
 G 0 6 T 1/00 4 2 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 18 日 (2004.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置装置に具備され原稿を画像情報装置の所定の画像情報読み取り位置に搬送可能な自動原稿給送装置において、該自動原稿給送装置は前記画像形成装置に対して開閉可能に支持せしめる回転支持手段を有し、該回転支持手段は開閉操作可能とする為の回転機構とバネ等の弾性体と気体もしくは液体状の物質を用いたダンパーを有しており、該ダンパーはダンパー効果を調整する事が可能な調整機構を有している事を特徴とした自動原稿給送装置。

【請求項 2】

画像形成装置装置に具備され原稿を画像情報装置の所定の画像情報読み取り位置に搬送可能な自動原稿給送装置において、該自動原稿給送装置は前記画像形成装置に対して開閉可能に支持せしめる回転支持手段を複数有し、少なくともその 1 つの該回転支持手段は開閉操作可能とする為の回転機構とバネ等の弾性体と気体もしくは液体状の物質を用いたダンパーを有しており、該ダンパーはダンパー効果を調整する事が可能な調整機構を有している事を特徴とした自動原稿給送装置。

【請求項 3】

画像形成装置装置に具備され原稿を画像情報装置の所定の画像情報読み取り位置に搬送可能な自動原稿給送装置において、該自動原稿給送装置は前記画像形成装置に対して開閉可能に支持せしめる回転支持手段を複数有し、該複数の回転支持手段において、少なくとも 1 つ以上の回転機構と 1 つ以上のバネ等の弾性体と 1 つ以上の気体もしくは液体状の物質を用いたダンパーを有しており、該ダンパーはダンパー効果を調整する事が可能な調整機構を有している事を特徴とした自動原稿給送装置。

【請求項 4】

前記調整機構は、前記ダンパーが伸展又は収縮する時に作用する作用力を可変とする事が可能な調整機構である事を特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の自動原稿給送装置。

【請求項 5】

前記調整機構は前記回転支持手段の外部より調整可能である事を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の自動原稿給送装置。

【請求項 6】

前記ダンパーは気体を用いたガスダンパーである事を特徴とした請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の自動原稿給送装置。

【請求項 7】

前記ダンパーはオイルを用いたオイルダンパーである事を特徴とした請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の自動原稿給送装置。